

## 子どもにがんを伝える本

愛媛県立図書館 平成28年2月作成

### 「子どもにがんを伝える本」のリスト作成基準

- ・15歳以下の子どもが読める本

適度なふりがながあり、子どもが読むことを想定して作られている本  
絵本や児童書

- ・テーマは、自分の小児がん・友達の小児がん・親のがんなど

原因が特定できないのに、ある日突然発病してしまうがんに関するもの

#### 【リストに入れなかったもの】

- ・一般向けに書かれた親の立場からの小児がんの闘病記
- ・戦争が引き起こした病気ということで戦争がテーマになっているもの

例えば、広島原子爆弾が原因と言われる白血病で亡くなった佐々木禎子さんの、折鶴や原爆の子の像に関する話に関連した本  
長崎で白血病とたたかった永井隆医師に関する本

- ・チェルノブイリ原子力発電所事故関係のもの

### 凡例

- ・発行年月の新しい順に配列している。
- ・「がんの種類」は、15歳以下の発病を目安に「子どもの」をつけて、子どもと大人を区別した。
- ・対象者や主人公から見て親のがんについての本は、「がんの種類」に「父の」又は「母の」と記入し、第三者の大人と区別した。
- ・書かれている範囲で闘病者が亡くなることがわかるものは、「がんの種類」に「(死亡)」として区別した。

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
1	わたしががんばったよ。急性骨髄性白血病をのりこえた女の子のお話。	岩貞るみこ文 松本ぶりつ絵	講談社	2015.11	登場人物はすべて仮名であるが、実在の女の子の闘病記。4歳で発病し、骨髄移植を経て退院。小学校に入学後、体育や掃除など友達と一緒にできないことも多く、自分の病気を友達に伝えようと描いた絵本が、絵本賞を受けた。	子どもの急性骨髄性白血病	小学生	ノンフィクション	916-イル-2005	
2	主人公はいつも君 メイク・ア・ウィッシュで夢をかなえた子どもたち(角川つばさ文庫)	大野寿子著 金斗絵	KADOKAWA	2015.1	がんの子どもたちばかりではないけれど、メイク・ア・ウィッシュによって夢をかなえた、闘病している子どもたちの感動の実話エピソード集。	子どもの脳腫瘍・子どもの神経芽細胞腫(死亡)・子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	小学校 中学年以上	ノンフィクション	なし	『メイク・ア・ウィッシュの大野さん』(KADOKAWA 2006.2)の中から、一部の内容を書き直し、さらに書き下ろしを加えたもの。
3	いのちつぐ「みとりびと」6 華蓮ちゃんさいごの家族旅行「いのちのバトン」をみなの手に	國森康弘写真・文	農山漁村文化協会	2014.3	脳腫瘍と診断され、「今の医療では手の施しようがない」と言われた華蓮ちゃんは、最後に大きな目標を立てた。それは毎年一番の楽しみだったデイズ・ニールランドへ家族で旅行すること…。看取りの場面を臨場感あふれる写真で描く。	子どもの脳腫瘍(死亡)	小学校 中学年以上	写真絵本	490-クヤ6-2014	
4	いのちつぐ「みとりびと」7 ぼくはクマムシになったかった かあさんに残ったさいごの笑顔	國森康弘写真・文	農山漁村文化協会	2014.1	骨肉腫というがんに侵された28歳の勝彦さんは、「地球最強」の生きもの、クマムシになりたいと言った。そんな勝彦さんが最後に望んだのは、笑顔の写真を残すことだった。看取りの場面を臨場感あふれる写真で描く。	骨肉腫(死亡)	小学校 中学年以上	写真絵本	490-クヤ7-2014	
5	とぶ夢に向かって ロンドンパラリンピック陸上日本代表・佐藤真海物語	佐藤真海文	学研教育出版	2012.12	チアリーディングをやっていた19才大学生のとき骨肉腫がわかり、右下足切断した。義足は痛くてつらかったけど、走ってみたことをきっかけにスポーツ義足を作り、大会目指して練習するようになった。会社勤めしながら、3度のパラリンピックに走り幅跳びで出場。	骨肉腫	小学校 高学年以上	ノンフィクション	782-カマ-2012	
6	あっこと僕らが生きた夏 17歳女子マネージャーがナインに託した命のバトン	有村千裕著	講談社	2011.7	野球部マネージャーをしていた女子高校生にがんがわかる。2年夏の大会では、甲子園に行けず、入院治療。3年夏は、県大会初戦で敗れる。3年夏の県大会を取った女性記者の記事に記事にしたことから、後に執筆したドキュメント。	上咽頭がん(死亡)	中学生以上	ノンフィクション	916-アチ-2011	
7	甲子園がくれた命	中村計著	講談社	2011.3	日大三高のスポーツ推薦入試を受ける予定だった山崎福也は、脳腫瘍がわかり、3月に手術を受ける。回復も早く、再び野球できるようになり、活躍する。	子どもの脳腫瘍	小学校 高学年以上	ノンフィクション	783-ナケ-2011	
8	ドーン・ロシエルの季節 4 いのちの光あふれて	ローレイン・マクダニエル作 日当陽子訳	岩崎書店	2011.1	アメリカのYA小説ベストセラー作家の作品。主人公は、16才に。がんとの付き合い方に悩みながら、高校生活を楽しむ。	子どものリンパ性白血病	中学生以上	読み物	933-マロ4-2011	
9	ドーン・ロシエルの季節 3 いつまでも忘れない	ローレイン・マクダニエル作 日当陽子訳	岩崎書店	2010.11	アメリカのYA小説ベストセラー作家の作品。15才の夏にキャンサーキャンプで指導員見習いとなった主人公は、反抗的な13才の少女と出会う。キャンプ後、少女は入院し、末期がんのため亡くなる。	子どものリンパ性白血病・子どものがん(死亡)	中学生以上	読み物	933-マロ3-2010	

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
10	ドーン・ロシェルの季節 2 ふたつのバースデイ	ローレイン・マク ダニエル作 日 当陽子訳	岩崎書店	2010.7	アメリカのYA小説ベストセラー作家の作品。主人公は、14才に。再発し、兄からの骨髄移植を受ける。	子どものリンパ性白血病	中学生以上	読み物	933-マロ2-2010	
11	ドーン・ロシェルの季節 1 さよならの贈りもの	ローレイン・マク ダニエル作 日 当陽子訳	岩崎書店	2010.7	アメリカのYA小説ベストセラー作家の作品。13才で白血病と診断された女の子が主人公。入院して同室だった女の子が、寛解で退院後、再発し亡くなってしまう。	子どものリンパ性白血病・子どものリンパ性白血病(死亡)	中学生以上	読み物	933-マロ1-2010	
12	おかあさんだいじょうぶ？	乳がんの親とその子どもためのプロジェクト作 黒井健絵	小学館	2010.2	乳がんになったお母さんと子どもが見る絵本。年長ぐらいの男の子と2才ぐらいの女の子のいるお母さんが描かれている。	母の乳がん	幼児・小学生	絵本	E-クケ-2010	
13	セラピー犬からのおくりもの (マック動物病院ボランティア日誌)	ローリー・ハルツ ・アンダーソン 作、中井はるの 訳、藤丘 ようこ	金の星社	2009.12	母の仕事の都合で、動物病院長の祖母のところで暮らす女の子が主人公。セラピー犬を連れてがん患者の小児病棟を訪問する。そのセラピー犬の悪性腫瘍もわかり、やがて飼い主は安楽死を選ぶ。		小学校高学年以上	読み物	933-アロ-2009	
14	あきらめないで 白血病と闘ったわたしの日々	マルティナ・アマン 作 本田雅也 訳	徳間書店	2009.5	著者は、1981年ドイツ生まれ。7才で発病し、まる1年学校を休み治療するが、12才の時に再発がわかる。二度にわたって病氣と向かい合った体験を、17才のときに綴ったもの。闘病のことだけでなく、日常生活に復帰したあとのこともたくさん語られている。	子どもの急性リンパ性白血病	小学校高学年以上	ノンフィクション	946-アマ-2009	
15	永遠に生きるために	サリー・ニコルズ 作、野の水生訳	偕成社	2009.2	主人公は、6才で発病、10才で再発、今は在宅している白血病の11才のサム。1月7日から4月12日までこの本を書いたという設定。同じ病院にいた別のがんの2才年上のフェリックスと一緒に家庭教師で勉強している。ぼくのやりたい8つのことをやり遂げたり、フェリックスの死があったりする。著者は、1983年生まれで、23才の時に書いた。	小児急性リンパ性芽球性白血病(死亡)	中学生以上	読み物	933-ニサ-2009	
16	6歳のお嫁さん 亡き娘から託された「いのちの授業」	鈴木中人著	実業之日本社	2009.1	1957年生まれの著者は、1989年生まれの景子ちゃんを、3才で発病、5才で脳転移、6才で亡くした。その後2005年に会社を早期退職し、亡き子が生かされる喜び、自分が救われる、後悔したくないという思いで「いのちの授業」を始めた。	子どもの神経芽細胞腫(死亡)	中学生以上	ノンフィクション	114.2-スナ-2009	
17	16歳。死ぬ前にしてみたいこと	ジェニー・ダウン ハム著、代田亜 香子訳	PHP研究所	2008.10	数年前に発病し、今は学校に行っていない16才の少女が、病氣であっても普通に付き合ってくれるただ一人の大学生の友達と一緒に、死ぬ前にしてみたいことを経験する。	子どものリンパ芽球性白血病	中学生以上	読み物	933-ダジ-2008	
18	夢を跳ぶ パラリンピック・アスリートの挑戦(岩波ジュニア新書 604)	佐藤真海著	岩波書店	2008.8	19歳で骨肉腫を発症し、右足膝下を失った著者が、北京パラリンピック陸上競技・走り幅跳び日本代表に選ばれるまでの道のりを語る。さまざまな困難を乗り越え、新たに挑戦を続ける若き女性アスリートの涙と夢と希望の手記。	骨肉腫	中学生以上	ノンフィクション	IJ782-サマ-2008	

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
19	いのちのバトンリレー 臓器移植を乗り越えた少女と白血病の少年の物語	関朝之作	ハート出版	2007.6	主人公は、1986年生まれの女の子。小さい時から肝臓病で苦しみ、中学生のときに母から肝臓移植したものの、3年後に再度の移植が必要になる。アメリカで移植を受けるための募金活動に、骨髄移植手術を受けたことがある小学6年の男の子も協力する。移植に成功して帰国した女の子は、白血病の男の子が亡くなったことを知る。	子どもの急性骨髄性白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション	なし	
20	おかあさんが乳がんになったの	アビゲイル&エイドリエン・アッカーマン文・絵 飼牛万里訳	石風社	2007.6	9才と11才の女の子が作った絵本。子供の立場で見たがん治療の様子がわかる。	母の乳がん	小学校高学年以上	絵本	936-ア7-2007	
21	もうすぐママは星になる がんの母親とジェイミー	スー・ローソン原作 レベッカ・ウィーラー絵	汐文社	2007.5	小学校低学年の男の子が、アルバムを眺めながら、母の具合を案じる。	母のがん	小学生	絵本	E-ウレ-2007	
22	命のノート ぼくたち、わたしたちの「命」についての12のお話	細谷亮太著	講談社	2006.7	小児がんの子どもたちの治療をしてきた著者が、子どもの闘病の様子や、命のはじまりなどについてやさしく話す12の話。		中学生以上		490-ホリ-2006	
23	さびしくないよ 翔太とイフポット	牧野節子著	岩崎書店	2006.6	4人兄弟の末っ子で元気に育ち、将来は医師になりたいと考えていた中1の男の子が、発病し、治療を開始。コミュニケーションロボット「イフポット」のモニターに選ばれ、会話を楽しんだ。骨髄移植後、合併症で肝臓障害を起こして、14才で亡くなる。遺志をつぐため、友達が中心となり「コミュニケーションロボットと翔ちゃん基金」が設立された。	子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	289-キシ-2006	
24	ちいさな天使とデンジャラス・パイ	ジョーダン・ソーネンブリック著、池内恵訳	主婦の友社	2006.6	主人公は、ドラムの練習に熱を入れている中3の男の子。幼稚園児の弟のがんがわかり、教員の母は仕事を辞めて付き添い、会計士の父は、自分と向き合ってくれず、ストレスをためるが、友人や教師の助けで、変えられることを見つけて行動していく明るい物語。	子どもの急性リンパ性白血病・子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	中学生以上	読み物	933-ソジ-2006	
25	いのちのいろえんぴつ	豊島加純詩・絵 こやま峰子文 マイケル・グレイニエツ絵	教育画劇	2006.3	10才のときに発病。先生から12色の色鉛筆とノートをももらったことをきっかけに詩と絵をかく。脳腫瘍による右手麻痺のため、左手で創作。加純さんのノートのページと作家の絵・文のページが、交互互いに編集されている。	子どもの脳腫瘍(死亡)	小学生	絵本	なし	
26	死ぬのは、こわい？(よしみちパンセ)	徳永進著	理論社	2005.12	診療所院長が中学2年男子を連れて診療所を案内しながら、一緒に死について考えていく構成。胃がん末期の80才女性、乳がんの多発性骨転移の34才女性、37才の卵巣がん女性などが出てくる。		中学生以上	読み物	490-トス-2005	
27	いのちの作文 難病の少女からのメッセージ	綾野まさる作	ハート出版	2005.12	母子家庭で弟妹の面倒をみる小6の女の子が、骨折かと診てもらったことから、がんと肺への転移がわかった。母は病名を教え、闘病する。中2の5月に書いた作文がクラス代表となり、市の弁論大会で3位入賞。全国作文コンクールで優秀賞になった。	子どもの骨肉腫(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	289-サヒ-2005	

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
28	その日のまえに	重松清著	文芸春秋	2005.8	短編小説の連作集。余命3か月の宣告を受けた中年男性、母一人子一人家庭の母ががんとわかった高校1年男子、中2・小5の息子のいる40代女性などが出てくる。連作集でありながら、それぞれの話が関連しあっている。		中学生以上	小説	913-シキ-2005	
29	お父さん・お母さんががんになってしまったら	Ann Couldrick原作 阿部 まゆみ・田中 しほ訳・編集 わたなべじゅんこイラスト	ピラールプレス	2005.7	お父さん、お母さんが「がん」に罹っていることが判ったとき、子どもたちのまわりにいる大人はどのようにすればいいのか。子どもたちが穏やかに安心して生活をするための道しるべとなるよう、わかりやすく解説する。原作は、イギリスの出版。	父母のがん	小学校中学年以上	絵本	494-クア-2005	
30	仲間と。がんと向きあう子どもたち	がんの子供を守る会、フェロー・トゥモロー編	岩崎書店	2004.11	子どもの頃に小児がんを経験した若者たちが、自分たちの経験をふりかえり、今思うこと考えることを語る。告知をふくめた子どもたちの物語。	子どもの骨肉腫・子どもの急性リンパ性白血病・子どもの横紋筋肉腫・骨肉腫・子どもの急性骨髄性白血病・子どもの悪性リンパ腫・子どもの網膜芽細胞腫	中学生以上	ノンフィクション	493-ナカ-2004 493.94-ナカ-2004	
31	ジュニア版まんがプロジェクトX挑戦者たち 3 決断命の一滴 <白血病>日本初の骨髄バンク	NHKプロジェクトX制作班原作・監修 本そいうち作画・脚本	宙出版	2004.8	母と型が一致し骨髄移植を受けて体調を回復することができた24才の女性が、骨髄バンクを立ち上げるために尽力する実話をもとにしたまんが。	慢性骨髄性白血病・子どもの慢性骨髄性白血病(死亡)	小学校中学年以上	まんが	なし	同じ話が、大人向け、子ども向け、大人向けコミック版でも出ている。
32	小さな勇士たち 小児病棟ふれあい日記 ジュニア版(NHKスペシャルこども・輝けいのち)	NHK「こども」プロジェクト編	汐文社	2004.3	小児病棟での辛い治療や、家族と離れ、寂しさの中にある子どもたちの心のふれあいを温かいまなざしで見守る。互いに励ましあう少年・少女の日々の記録。	子どもの神経芽細胞腫(死亡)・子どもの悪性リンパ腫・子どもの骨肉腫(死亡)・子どもの急性骨髄性白血病	小学校中学年以上	ノンフィクション	493-チイ-2004	同じ話が、大人向けでも出ている。
33	天国へのかけはし	植木垂紀子著、植木誠編著	教研学習社	2004.3	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	なし	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
34	コウスケくんの青い空 続 いのちのあさがお	綾野まさる作 松本恭子画	ハート出版	2003.12	小学校に3か月しか通えず、急性リンパ性白血病で亡くなった光祐君がまいたあさがおのたねは、数えきれないほどの花を咲かせ、広がっている。2年前に白血病の父に骨髄を提供したけれど父を亡くした小学6年の相原雅之君のエピソードや、あさがおを大切に育てる上越市立高志小学校1年2組のエピソードがある。母まみこさんは、2003年にがんがわかり、手術・治療を行う。	子どもの急性リンパ性白血病(死亡)、急性骨髄性白血病(死亡)、乳がん	小学校中学年以上	ノンフィクション	なし	『いのちのあさがお』の続編。46.63と関連
35	「電池が切れるまで」の仲間たち 子ども病院物語	宮本雅史著	角川書店	2003.12	『電池が切れるまで』に作品が収められている子どもたちの闘病の物語。「命」という詩を残して亡くなった11才の女の子のことが、特に多く書かれている。長期入院の経験を活かし、医師や教師を目指す子の話もある。	子どもの神経芽細胞腫(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	なし	角川文庫での出版もあり。39と関連

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
36	レアの星 友だちの死	パトリック・ジルソン文 クロード・K・デュボア絵 野坂悦子訳	くもん出版	2003.9	小学低学年の男の子の近所の友達の女の子が、入院することになり、お見舞いにも行くが、やがて亡くなる。友達が好きだった星を「レアの星」と呼んで母と見る。	子どものがん(死亡)	小学生	絵本	E-テケ-2003	
37	「ママ、ごめんね」物語	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	2003.2	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	なし	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
38	大輝くんのくじら(講談社ノンフィクション絵本)	清水久美子文 笹尾俊一絵	講談社	2002.11	難病の子たちに「夢」を支援するボランティア団体メイク・ア・ウィッシュの応援で、沖縄でがん闘病中の小学生大輝くんのもう一つの夢がかなう。ホテルの一日社長に迎えられ、屋上にクジラの絵を描いたらいいという提案が実現する。	子どもの神経芽細胞腫	小学生	ノンフィクション絵本	なし	
39	電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ	すずらん会編	角川書店	2002.11	長野県立子ども病院の院内学級の子どもたちの文集。がんの子どもたちばかりではないけれど、巻頭の詩「命」を書いた4年生の宮越由貴奈さんは、神経芽細胞腫と闘った。		小学生	詩・作文	378.4-デン-2006	角川文庫、角川みらい文庫での出版もあり。35と関連
40	大切な人が死んじゃった(トレポー・ロメインこころの救急箱)	トレポー・ロメイン著 上田勢子・藤本惣平訳	大月書店	2002.7	子どもが大切な人の死に出会い、悲しみやつらさ、喪失感や恐怖感を抱いたとき、悲しみをいやす様々な試みを子どもにもよくわかるように解説。		小学校中学年以上		114-ロト-2002	
41	水平線の向こうから	堂園晴彦文 葉祥明絵	PHP研究所	2002.7	子どもたちが愛する人の死から一日も早く立ち直り、前向きな人生を送れるようになってほしいとの思いから、医師が子どもたちに死をわかりやすく伝えるために作った本。8才で母を亡くした女の子が、15年後に大切な人と一緒に、母の生まれた島を見に帰ってくるという設定。	母のがん	中学生以上	大人向け絵本	726.6-ヨシ-2002	
42	いのちがおわるとき(シリーズいのちの授業)	種村エイ子監修	ポプラ社	2002.4	小児がんで闘病した子どものがんばりと家族の思いが語られている。	子どもの白血病(死亡)・子どもの骨肉腫(死亡)	小学校高学年以上		114-シリ2-2002	
43	小児白血病 君の病気について知ろう	渡辺新著	南山堂	2002.4	病気になるとどうなるか、どんな検査があるか、どんな治療があるかなど、絵を入れて小さい子ども向けにわかりやすく書いている本。別冊「患者さんを支える方々へ」という一般向け解説書とセット。	子どもの白血病	幼児・小学生		なし	
44	月のかがやく夜に がんと向きあうあなたのために	リサ サックスヤッフア著 向山雄人監修 遠藤恵美子訳 こばたえこ絵	先端医学社	2001.11	がんにかかった親が、そのことを子どもたちに初めて伝えるときに役立ててほしいと作られた本。1998年にアメリカがん看護協会から出版された本を、日本の文化や医療事情に合うように心がけて看護の大学教員が訳している。	母のがん	小学生	絵本	なし	
45	イルカパワーできみは生きる!	早川真知子作 伊藤重夫絵	文研出版	2001.11	実話をもとにしたフィクション。母がメイク・ア・ウィッシュで働いている小学6年の男の子が主人公。メイク・ア・ウィッシュを辞退してきた小学3年生の男の子のところに母と一緒に説得に行き、一緒にハワイの海でイルカと泳ぐことになる。	子どもの急性リンパ性白血病	小学校高学年以上	読み物	913-ハマ-2001	
46	えほんいのちのあさがお	綾野まさる作 松本恭子画	ハート出版	2001.6	絵本であり、『いのちのあさがお』の Couscous くんの話が、わかりやすくまとめられている。	子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	幼児・小学生	絵本	なし	34.63と関連

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
47	種まく子どもたち 小児ガンを体験した七人の物語	佐藤律子編	ポプラ社	2001.4	小児がんにかかった7人とその家族の手記。	子どもの骨膜肉腫(死亡)・子どもの脳幹部グリオーマ(死亡)・子どもの急性リンパ性白血病・子どもの急性骨髄性白血病(死亡)・子どもの神経芽細胞腫	中学生以上	ノンフィクション	916-タネ-2001	
48	太郎くんは背番号1	清水久美子作 齋藤正光絵	騒人社	2001.4	もうすぐ1年生というときに入院した太郎君が主人公。ダイエーの選手と野球がしたいという夢を、足が痛くてからだがついけど、見事に叶える。	子どもの神経芽細胞腫	小学生	絵本	369-シク-2001	
49	たまみちゃんの青い海	清水久美子作 金斗鉦絵	騒人社	2001.4	弟が2人いるたまみちゃんが主人公。病気の再発に負けず、家族で沖縄旅行を実現した。		小学生	絵本	369-シク-2001	
50	ヒロシくんの車椅子	清水久美子作 堀木一男絵	騒人社	2001.4	がんと闘うヒロシくんは、特別に作られた車椅子を残して亡くなってしまった。同じ病院に入院している有美ちゃんが、その椅子でアメリカのユニバーサルスタジオにメイク・ア・ウィッシュで家族旅行するが、思い出を胸に亡くなってしまふ。その後もヒロシくんの車椅子は、みんなに使われる。		小学生	絵本	369-シク-2001	
51	夢はいのち 病気の子どもたちとメイク・ア・ウィッシュ	清水久美子作 ウィッシュチャイルド絵	騒人社	2001.4	がんに限らないけど難病の子どもの夢をかなえるメイク・ア・ウィッシュの活動を、小学校中学年くらいの子どもを対象に紹介した絵本。キミが病気だったらどうする？、髪の毛の話をしよう、車椅子の話をしようなどの項目がある。		小学生	絵本	369-シク-2001	
52	生命の炎は高く 癌に生きる少年たち	シュライバー作 長友恵子訳	偕成社	2000.10	がんの子どもばかりが参加するキャンプでの3週間の物語。主人公は、脳腫瘍で半年もつかどうかと言われている16才の男子高校生。キャンプに参加していたメンバーが、病気の悪化で亡くなる。	子どもの脳腫瘍・子どもの白血病(死亡)	中学生以上	読み物	933-シマ-2000	
53	難病の子どもを知る本 1 白血病の子どもたち	山城雄一郎・茂木俊彦監修 稲沢潤子文 石本浩市・難病のこども支援全国ネットワーク編 オノビン・田村孝絵	大月書店	2000.9	シリーズ8巻のうちの1巻。血液のしくみ、白血病のこと、治療について図や写真入りで解説されている。ふたりの女の子の治療の様子も出てくる。骨髄バンク、スマートムンストンキャンプ、がんの子どもを守る会のことも紹介されている。	子どもの急性リンパ性白血病・子どもの急性骨髄性白血病	小学校高学年以上		492-イジ1-2000	
54	さよならエルマおばあさん	大塚敦子写真・文	小学館	2000.8	多発性骨髄腫の告知を受けたエルマおばあさんが自宅で静かに死を迎えるまでの一年間を、愛猫の目を通して綴る。死に至るプロセスと死そのものを、カメラのレンズが克明に伝える。	多発性骨髄腫(死亡)	小学生	写真絵本	490-オア-2000	
55	天使たちのたんじょう会	宮川ひろ作 ましませつこ画	童心社	2000.5	2年の2学期を迎えた元1年2組で、あきこちゃんの誕生会をやる話がまとまった。ご家族も来てくれて、3年4年でも誕生会をやる。4年の誕生会でかなちゃんは、母が胃がんで亡くなった話をした。	子どものがん(死亡)・母の胃がん(死亡)	小学校高学年以上	読み物	913-ミヒ-2000	『天使のいる教室』の続編。新装版が2012.3に発行されている。66と関連

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
56	和也クンの雪だるま	清水久美子著 斎藤正光さしえ	駸人社	2000.4	3才のときに発病したががんが小学2年で再発。メイクアウイッシュで治療の合間に家族旅行に行けることになった。九州からポケモンジェットに乗り、新幹線に乗り、宮城県のスキー場に。夏に治療を終え退院できた。	子どもの神経芽細胞腫	小学生	ノンフィクション(絵と写真多数)	なし	
57	亜生ちゃんとガラパゴス	清水久美子著 細沢亜生さしえ	駸人社	2000.4	中学1年で発病した白血病は、悪性のもので、骨髄移植のドナーも見つからなかった。闘病を励まそうと母が応募したメイクアウイッシュで、ガラパゴス諸島に行ってウミイグアナとゾウガメを見たいという夢をかなえた。	子どもの白血病(死亡)	小学生	ノンフィクション(絵と写真多数)	なし	
58	さよなら、ママ	エリザベス・ツェラー作 清水美子訳	徳間書店	2000.2	13才の女の子の日記形式で書かれた物語。7才の弟もいる。	母の乳がん(死亡)	中学生以上	読み物	943-ツエ-2000	
59	ぼくのいのち	細谷亮太作 永井泰子絵	岩崎書店	1999.6	小学高学年の男の子が小さい頃のアルバムを見て白血病だったことを振り返る。	子どもの白血病	小学生	絵本	E-ナヤ-1999	
60	胃ガンをみつける(NHK教育テレビ シリーズ授業 子どもたちへのメッセージ2)	市川平三郎著	あすなる書房	1999.2	小さな胃がんも早く発見する「二重造影法」を開発したことで知られている放射線医学者が母校の小学6年生に授業したものの。1988年1月28日に放送された番組内容。	早期胃がん	小学校中学年以上	ノンフィクション	なし	
61	ダギーへの手紙 死と孤独、小児ガンに立ち向かった子どもへ	E.キューブラー・ロス文 アグネス・チャン訳 はらただけひで画	佼成出版社	1998.6	9才の少年が「いのちって何？ 死って何？ どうして小さな子どもたちが死ななければいけないの？」と出した手紙への、アメリカの精神科医からの返事。	子どもの脳腫瘍(死亡)	小学校中学年以上		114-1	
62	アッコに会えてよかった	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1998.2	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	なし	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
63	いのちのあさがお コウスケくんのおくりもの	綾野まさる作 松本恭子画	ハート出版	1997.12	年子の兄弟がいる1986年生まれの丹後光祐君が、入学の前年に発病し、入院・治療する。小学1年の7月から再入院し、あと3週間の治療で退院という9月に亡くなってしまう。母親は、学校で植えたあさがおが残されていることに気づき、種を大切にし、毎年増やしていく。骨髄バンクボランティアにも取り組む。	子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション	なし	34.46と関連
64	アンネがいたこの一年	ニーナ・ラウプリヒ作、松沢あさか訳	さ・え・ら書房	1997.5	主人公は、12才の女の子。白血病のため同じ学年を繰り返すことになったアンネと隣の席になる。思春期の友人関係、病気に対する思いなどが描かれる。	子どもの白血病(死亡)	中学生以上	読み物	940-353	
65	あやちゃんのスケッチブック	白根厚子作 藤本四郎絵	新日本出版社	1997.2	美咲の3才違いの妹のあやちゃんは、3才で発病し、4年近く経ってまた悪くなる。「大きくなったら画家になりたい」といって絵を描き続けた少女の、病气と闘い、短い命を輝かせたその生き方を通して、命の重さを問いかける。	子どもの急性リンパ性白血病(死亡)	小学校中学年以上	読み物	なし	



	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
66	天使のいる教室	宮川ひろ作 ましませつこ画	童心社	1996.7	1年2組担任のサトパンと呼ばれる佐藤正子先生が、生まれる前に父に作ってもらったミズキの人形水木哲平君の語り進む物語。重い病気で通院しているいなおかあきこちゃんは、9月の運動会後に入院し、12月に亡くなる。	父のがん(死亡)・子どものがん(死亡)	小学校中学年以上	読み物	913-ミヒ-1996	フォア文庫での出版もあり。新装版が2012.3に発行されている。55と関連
67	ヒース咲く丘のホスピスから	レナーテ・ヴェルシュ作 松沢あさか訳	さ・え・ら書房	1996.4	夏休みの間、祖母の見舞いにイギリスのホスピスを訪ねたウィーンの少女((たぶん15才)が、同級生の少年に送った手紙の形で綴られている物語。	祖母のがん・子供の骨のがん(死亡)	中学生以上	読み物	940-339	
68	ぼく、とうさんの足になる	岸川悦子作 安永幸太絵	大日本図書	1996.3	主人公は8才、弟は5才。父は5年も入院しており、立つことも歩くこともできないけれど、少しずつ痛み止めの量を減らし、車椅子に乗れるように練習し、家に帰ってくる。	父の骨のがん	小学校中学年以上	読み物	913-キエ-1996	
69	またね	大谷美和子作 岡田まりゑ画	くもん出版	1995.12	小学6年の女の子の母が乳がんとわかり、入院手術する。父は単身赴任中のためひとりで週日を過ごす。母と同室の女性の病柄に触れ、亡くなる2日前に「またね」と言ってもらったことが、心に残っていく。	母の早期乳がん・母と同室だった60代女性の再発乳がん(死亡)	小学校高学年以上	読み物	913-オミ-1995	
70	金色のクジラ アニメ絵本	岸川悦子原作 矢吹公郎構成・	ひくまの出版	1994.11	東映が1994年6月に製作したアニメーションの絵本。	子どもの白血病	小学生	アニメ絵本	913-キエ-1994	
71	闇に追われて	モニカ・ヒューズ作、小池直子訳	すぐ書房	1994.5	裕福な家庭に生まれ、狩猟に行くのを楽しみにしている15才の少年が、白血病と診断される。死の恐怖と戦いながら自分の運命を受け入れ人生の意味を見出す少年の成長物語。	子どもの白血病	中学生以上	読み物	933-641	
72	命燃やす日々 自らガンと闘い ある難病患者の『生きる!』を撮ったディレクター	マオアキラ著	文溪堂	1993.6	1984年に発病以来8年余り、闘病しながらテレビ番組を作り続けたNHKディレクター鴻農周策のドキュメント。仲の良い妻・3人の娘との松山での闘病と仕事、友人の作家の手で綴られている。ALS患者の川口武久さんの番組『命燃やす日々』を作るために最後の力を振り絞り、51才で亡くなる。	多発性骨髄腫(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	916-333、K916-89	
73	あっ子ちゃんの愛の一生	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1991.10	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	916-305	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
74	チャーリー・ブラウンなぜなんだい? ともだちがおもい病気になるまで	チャールズ・M・シュルツ作 ポール・ニューマンまえがき 細谷亮太訳	岩崎書店	1991.10	白血病にかかったけど、治療して学校に戻ってくる女の子の話。おなじみのキャラクターが登場する。がんはうつるのではない、がんの子だけ特別扱いはされるのはおかしいといった、周囲の子どもが感じる気持ちが描かれている。	子どもの白血病	小学生	絵本	933-461	
75	勇敢な心	ジョアン・ジレスピー著 桜内篤子訳	飛鳥新社	1991.4	1977年生まれのイギリスの女の子が書いたもの。9才の時に診断されて手術を受け、10か月後に再発し、再手術を受ける。病院に子どもの本がなかったから、自分で本を書くことにしたこと。病気の経過がよく綴られている。妹と本人がかいた絵が多数ある。	子どもの脳腫瘍	小学校高学年以上	ノンフィクション	なし	

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
76	夕陽よとまれ レーサーを夢みて逝った少年	今泉雅規、今泉隆夫著	理論社	1991.2	18才で骨肉腫と診断された一人息子とその父の文章を取り混ぜた闘病記。本人は病名の告知を受けていなかったが、隣の病室の30代男性と話していて、自分の病状にも気づいていく。	骨肉腫	中学生以上	ノンフィクション	916-294	
77	お母さん、笑顔をありがとう！ 白血病とたたかった少女真木の記録	小川陽子文 田中禎子絵	偕成社	1990.11	1975年生まれの本国真木は、小学6年で父を白血病で亡くすが、その直後に遺伝ではないのに自分の発病がわかる。骨髄移植を希望しながらも型の合う人が見つからず、14才の誕生日の翌日亡くなる。母は、骨髄バンクの設立に努力する。	白血病(死亡)・子どもの急性骨髄性白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション	916-286	
78	ぼく、だいじょうぶだよ 暢君と5年3組のなかま(ポプラノンフィクション)	赤佐小学校5年3組老川学級と暢君の家族編	ポプラ社	1990.11	5年の2学期が始まって間もなく入院した男の子の、担任の先生、母、本人や級友の手紙や日記で綴られている闘病の記録。級友の励ましや学校との関わりをどんなに支えにしているかが伝わる。	子どもの骨肉腫(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	916-284	
79	金色のクジラ	岸川悦子作 狩野富貴子絵	ひくまの出版	1990.5	かぎっ子にあこがれていた小学3年のぼくが主人公。たまたまの母の不在日に、弟が体調不良で、そのまま入院してしまう。白血病の弟に自分の骨髄を提供することになり、やがて弟も退院でき、1年生となる。	子どもの白血病	小学校中学年以上	読み物	913-キエ-1990	
80	鳥になって ガンとたたかった少女の詩	親川智子著 『鳥になって』編集委員会編	ニライ社	1989.12	小学5年で骨肉腫のため右足切断、その後肺転移により入退院を繰り返し、中学2年で亡くなった少女の文集。病院の医師や学校教師による追悼文もある。乱暴な口をきく子だったけど、詩集を見てびっくりしたというほど、表現力のある、十分に感動を与えてくれる作品。	子どもの骨肉腫(死亡)	小学校高学年以上	詩・ノンフィクション	916-256	
81	あっ子ちゃんの永遠の親友 証明書	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1989.12	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	916-255	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
82	君と白血病 この1日を貴重な1日に	Lynn S. Baker 著 細谷亮太訳	医学書院	1989.8	米国の女医が白血病の子どもたちを対象にして書いた白血病の説明書。急性リンパ性白血病が中心。からだのしくみから始まり、治療方法、薬剤名、副作用など絵を多用して説明している。	子どもの白血病	小学校高学年以上		なし	
83	がんとたたかう子どもたち 1日1日を精いっぱい生きる	トーマス・ベリイマン写真・文	偕成社	1989.7	モノクロの写真絵本。スウェーデンのカロリンスカ病院で闘病中の2才の女の子と3才の男の子の様子を追ったもの。文章は、一般の絵本より分量があり、かなり詳しい。撮影期間は8か月らしいが、何年もかかるつらい治療の様子、小さい子でも精一杯頑張っている様子が伝わる。	子どもの白血病	小学生	写真絵本	なし	
84	ぼくはガンを克服した ある少年の生への闘い	ジェイソン・ゲイズ著 ティム・ゲイズ、アダム・ゲイズ絵 国谷裕子訳	日本放送出版協会	1989.4	6才でごく稀ながんにかかったジェイソンが、治療に苦しみながらも、2年でがんと闘いに勝利する。がんに勝って大人になるという子どもの本がないため、自分の体験をまとめたこと。兄2人がイラストを担当。8才の子どもの文章だけど、治療の時の気持ち、どのように考えたらよいかなど素直に伝えてくれる。	子どものパーキンソン病	小学生	ノンフィクション	936-5	

	書名	著者名	出版社	出版年	内容	がんの種類	対象	種類	愛媛県立図書館所蔵	備考
85	チイちゃんだけがなぜあっ子ちゃんの涙と愛の友情	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1988.3	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	493-7	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
86	パパ、泣かないで	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1986.12	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	493-8	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
87	ビルギット	グートルン・メブス作 高橋洋子訳 小泉るみ子絵	国土社	1986.12	小学校低学年と思われる女の子が主人公。1才2か月年上の姉ビルギットが、朝目を覚ましたら寄り目になっていて、脳腫瘍と診断される。お見舞いに行った時のショックや、父の方針で姉の葬式にも出られない子どもの気持ちが描かれている。	子どもの脳腫瘍(死亡)	小学校中学年以上	読み物	940-166	
88	雲のむこうに虹がある なんとたかかった子どもたち	センター・フォー・アティテューディナル・ヒーリング著 榎戸かし代訳	ほるぷ出版	1985.10	著者は、サンフランシスコにある、白血病やがんなど重い病気にかかった子どもたちとその家族を支援するグループ。8才から18才までの11人の名前が出ている。病気になる前は、病気になって、という章ごとに解説の文章、自分用の書き込みページ、子どもたちがかいたモノクロの絵本といった構成になっている。『「雲のむこうに虹がある」のために』という一般向け解説本とセット。		小学校高学年以上		なし	
89	ママ、ごめんね あっ子ちゃんの日記	植木亜紀子著、植木誠編著	教研学習社	1985.9	1971年生まれ、3才で白血病がわかり、1983年に11才で亡くなった女の子。綴っていた日記を入れて、父が編集した本。	子どもの白血病(死亡)	小学校中学年以上	ノンフィクション・日記	493-5	いろいろな編集方針で、何種類も何度も出版されている。
90	さいごのVサイン 小児ガン宣告	大野芳著	ポプラ社	1983.2	小学1年が終わるころ発病した金杉英俊君が、寛解の時期もあったのに、中学3年で高校受験を前に亡くなる。子どもへの病名告知がまだ普通でなかった頃、小学6年で、心ない友達の一言で自分の病名を知ってしまう。しかし、友達には病気のことは話さず、闘病する。	子どものリンパ性白血病(死亡)	小学校高学年以上	ノンフィクション	916-62	
91	十五歳の絶唱 骨肉腫で亡くなった川畑朋子さんの記録(秋元ジュニア文庫)	若城希伊子著	秋元書房	1983	中学2年の夏頃から足が痛くてたびたび受診していたが、2月に診断される。3年生の1月に亡くなるまでの、本人の日記も合わせた闘病の記録。	子どもの骨肉腫(死亡)	中学生以上	ノンフィクション	491-17	
92	カロンの舟に祈りをのせて	高橋蝶子著、藤沢友一絵	講談社	1976.2	中学2年になっただけの女の子が主人公。3才上の姉と和服の仕立てで生計を立てる母との3人暮らし。すでに肺に転移しており、手術に耐えられずに亡くなる。	子どもの骨肉腫(死亡)	中学生以上	読み物	913-姉-1976	